



2026年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年4月30日

上場会社名 シンプレクス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4373 URL <https://www.simplex.holdings/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 英樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 江野澤 慶亮 TEL 03-3539-7370
 定時株主総会開催予定日 2026年6月20日 配当支払開始予定日 2026年6月1日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月11日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	58,682	23.8	14,420	33.5	14,352	33.8	10,538	35.4	10,538	35.4	10,764	31.4
2025年3月期	47,394	16.4	10,804	22.1	10,729	22.7	7,781	25.6	7,781	25.6	8,194	32.7

	基本的1株当たり 当期利益		希薄化後 1株当たり当期利益		親会社所有者帰属持分 当期利益率		資産合計 税引前利益率		売上収益 営業利益率		
	円	銭	円	銭	%	%	%	%	円	銭	
2026年3月期	46.42		45.17		21.0		17.2				24.6
2025年3月期	33.45		32.56		16.2		13.6				22.8

（参考）持分法による投資損益 2026年3月期 31百万円 2025年3月期 97百万円

（注）当社は、2025年10月30日開催の取締役会決議により、2025年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っておりますが、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり当期利益、希薄化後1株当たり当期利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率		1株当たり親会社 所有者帰属持分	
	百万円	円	百万円	円	百万円	%	%	円	銭	
2026年3月期	88,169		51,450		51,450	58.4		230.00		
2025年3月期	79,022		48,810		48,810	61.8		214.27		

（注）当社は、2025年10月30日開催の取締役会決議により、2025年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っておりますが、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり親会社所有者帰属持分を算定しております。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	円	百万円	円	百万円	円	百万円	円
2026年3月期	10,689		1,970		△11,662		14,443	
2025年3月期	9,746		534		△10,570		13,438	

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率(連結)	
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			%	%
2025年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	2,847	37.4	6.0	
2026年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00	4,026	38.8	8.1	
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	24.00	24.00		43.6		

（注）1. 2026年3月期の期末配当は2026年5月27日に開催予定の当社取締役会に付議する予定です。
 2. 当社は、2025年10月30日開催の取締役会決議により、2025年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行ったため、2026年3月期以降の期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2026年3月期の期末配当金は72円、2027年3月期(予想)の期末配当金は96円となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期（累計）	33,200	19.4	7,350	4.2	7,217	2.3	4,979	4.2	4,979	4.2	円 銭 22.19
通期	70,000	19.3	17,200	19.3	16,943	18.1	12,420	17.9	12,420	17.9	円 銭 55.08

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期	237,045,100株	2025年3月期	234,831,900株
----------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2026年3月期	13,351,476株	2025年3月期	7,033,788株
----------	-------------	----------	------------

③ 期中平均株式数

2026年3月期	227,033,934株	2025年3月期	232,578,783株
----------	--------------	----------	--------------

（注）当社は、2025年10月30日開催の取締役会決議により、2025年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っておりますが、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

（参考）個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	12,513	69.7	6,070	123.2	6,079	123.2	5,802	124.8
2025年3月期	7,373	2.3	2,720	△21.8	2,724	△21.7	2,581	△23.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	25.56	24.87
2025年3月期	11.10	10.80

（注）当社は、2025年10月30日開催の取締役会決議により、2025年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っておりますが、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益、潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	30,812	26,388	85.6	117.96
2025年3月期	32,162	28,712	89.2	126.04

（参考）自己資本 2026年3月期 26,365百万円 2025年3月期 28,690百万円

（注）当社は、2025年10月30日開催の取締役会決議により、2025年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っておりますが、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）に記載している第2四半期（累計）及び通期の基本的1株当たり当期利益は、新株予約権の行使により、期中平均株式数が2026年3月期の期末発行済株式数（自己株式を除く）からそれぞれ731,017株、1,822,909株増加すると仮定して算定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結財政状態計算書	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結持分変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の業績は、

売上収益	58,682百万円	(前期比 23.8%増)
営業利益	14,420百万円	(前期比 33.5%増)
税引前当期利益	14,352百万円	(前期比 33.8%増)
親会社の所有者に帰属する当期利益	10,538百万円	(前期比 35.4%増)

となりました。

当連結会計年度の業績において特記すべき事項は以下のとおりであります。

- ① 売上収益は、システムインテグレーション、運用サービスともに売上が好調に推移したこと及び戦略/DXコンサルティングにおける堅調な案件獲得により、58,682百万円（前期47,394百万円、前期比23.8%増）と、過去最高を更新しました。

売上総利益は25,623百万円（前期19,638百万円、前期比30.5%増）、売上総利益率は43.7%（前期41.4%）と、ともに前期を大きく上回りました。

販売費及び一般管理費は、主に新卒採用者数の増加及び研修や中途採用の強化施策により、9,594百万円（前期7,307百万円、前期比31.3%増）と、前期より増加しました。研究開発費は1,572百万円（前期1,475百万円、前期比6.6%増）と、前期より増加しました。また、その他の収益に16百万円、その他の費用に52百万円を計上しております。

この結果、営業利益は14,420百万円（前期10,804百万円、前期比33.5%増）、営業利益率は24.6%（前期22.8%）となり、金融収益96百万円、金融費用195百万円、持分法による投資利益31百万円を計上して、税引前当期利益は14,352百万円（前期10,729百万円、前期比33.8%増）となりました。

法人所得税費用は3,814百万円（前期2,948百万円）となり、親会社の所有者に帰属する当期利益は10,538百万円（前期7,781百万円、前期比35.4%増）となりました。

- ② サービス形態別では、戦略/DXコンサルティングの売上収益は10,816百万円（前期7,510百万円）と前期を大きく上回りましたが、売上総利益率は48.4%（前期49.7%）と、前期を下回りました。

システムインテグレーションの売上収益は33,758百万円（前期26,320百万円）、売上総利益率は43.0%（前期39.8%）と、ともに前期を大きく上回りました。

運用サービスの売上収益は14,093百万円（前期13,518百万円）、売上総利益率は41.4%（前期39.7%）と、ともに前期を上回りました。

(参考情報)

売上収益のサービス形態別の概況

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)			当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)			
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	利益率 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	利益率 (%)	増減 (百万円)
戦略/DXコンサルティング	7,510	15.8	49.7	10,816	18.4	48.4	3,307
システムインテグレーション	26,320	55.5	39.8	33,758	57.5	43.0	7,438
運用サービス	13,518	28.5	39.7	14,093	24.0	41.4	574
その他	45	0.1	100.0	15	0.0	100.0	△30
合計	47,394	100.0	41.4	58,682	100.0	43.7	11,289

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、88,169百万円（対前連結会計年度末比9,147百万円増加）となりました。これは主に、増床を含むオフィス契約の更新等により、使用権資産が5,384百万円増加した他、受注案件の規模拡大に伴い、営業債権及びその他の債権が4,003百万円増加したことによるものです。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、36,719百万円（対前連結会計年度末比6,507百万円増加）となりました。これは主に、増床を含むオフィス契約の更新等により、リース負債が5,312百万円増加した他、営業債務及びその他の債務が1,121百万円増加したことによるものです。

(資本)

当連結会計年度末における資本合計は51,450百万円（対前連結会計年度末比2,640百万円増加）となり、親会社所有者帰属持分比率は58.4%（前連結会計年度末は61.8%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は14,443百万円（対前連結会計年度末比1,005百万円増加）となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、10,689百万円の資金取得（前期9,746百万円の資金取得）となりました。これは主に、税引前当期利益14,352百万円、償却費2,628百万円の計上によるキャッシュ・フローの増加と、法人所得税の支払4,573百万円、営業債権及びその他の債権の増加4,003百万円によるキャッシュ・フローの減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、1,970百万円の資金取得（前期534百万円の資金取得）となりました。これは主に、持分法で会計処理されている投資の売却による収入1,892百万円、投資有価証券の売却による収入572百万円によるキャッシュ・フローの増加と、主にインフラ環境の増強に伴う有形固定資産の取得による支出370百万円によるキャッシュ・フローの減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、11,662百万円の資金使用（前期10,570百万円の資金使用）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出5,615百万円、配当金の支払額2,847百万円、リース負債の支払による支出2,055百万円、借入金の返済による支出1,480百万円によるキャッシュ・フローの減少によるものです。

(4) 今後の見通し

当社グループの2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)は次の通りであります。

(単位:百万円)

	2026年3月期 (実績)	2027年3月期 (予想)	増減	増減率 (%)
売上収益	58,682	70,000	11,318	19.3
営業利益	14,420	17,200	2,780	19.3
親会社の所有者に帰属する 当期利益	10,538	12,420	1,883	17.9

DXの潮流の中、当社グループが一定の社会的インパクトを持つ企業となるためには、まずは売上収益1,000億円を実現することが重要であると考えております。こうした考えの下、持続的な企業価値向上を図るための長期成長戦略として、当社グループの目指すべき姿を定めた「Vision1000」を掲げております。

当社グループは、2025年3月期から2027年3月期までの3カ年を対象期間とする中期経営計画「中計2027」に基づき、グループシナジーの発揮に取り組むことにより、着実に事業基盤の拡大を進めてまいりました。足元では、DXに関する需要が引き続き高水準で推移しており、これを着実に取り込みながら、AI活用を通じて提供価値と競争力の向上を図ることが重要であると認識しております。

こうした取り組みの進捗及び足元の事業環境を踏まえ、当社は、「Vision1000」で掲げる売上収益1,000億円の実現時期を2030年3月期に明確化いたしました。これに伴い、その達成に向けた成長戦略及び数値目標を定めるものとして、「中計2027」を発展的に見直し、2027年3月期から2030年3月期までの4カ年を対象期間とする中期経営計画「中計2030 -Vision1000-」を策定いたしました。

2027年3月期は、「中計2030 -Vision1000-」の初年度として、前期に引き続き、高水準のDX需要を取り込み、金融・非金融を問わず、グループシナジーの発揮を通じた売上収益の拡大を見込んでおります。加えて、生成AI活用を前提とした事業運営体制への転換を段階的に進めてまいります。人的資本の拡充及び積極的な研究開発投資を通じて、提供価値と競争力の向上を図るとともに、「中計2030 -Vision1000-」の目標達成に向けた成長基盤を強化してまいります。

以上より、2027年3月期の見通しは、売上収益70,000百万円(前期比19.3%増)、営業利益17,200百万円(前期比19.3%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益12,420百万円(前期比17.9%増)の増収増益を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び配当

当社は、高いキャッシュフロー創出力を礎として、財務健全性を維持した上で、事業基盤の強化に繋がる成長投資を優先的に実行することが、持続的な利益成長と企業価値の向上に資すると考えております。

加えて、当社は、資本効率を意識した経営に取り組んでおり、重要な経営指標の1つとしてROE目標を掲げ、資本効率の向上に資する株主還元についても、キャピタルアロケーションにおける重要施策として認識しております。

こうした認識に基づき、当社は、業績動向やROE水準、成長投資の機会等を総合的に勘案した上で、配当を基本として株主還元の充実に努めております。

配当については、利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的・持続的な増加を基本方針とし、連結配当性向40%を目安として配当を行う方針です。

上記の配当方針に基づき、2026年3月期の期末配当につきましては、1株当たり配当金を18円とすることに致しました。また、2027年3月期の1株当たり配当金は、年間24円の期末配当を予定しております。

なお、自己株式の取得についても、資本効率の向上に資する株主還元策として、前述の配当決定に係る検討事項に加え、株価を含めた市場環境を考慮した上で、引き続き機動的に実施していく方針です。

(注) 2026年3月期の期末配当は2026年5月27日に開催予定の当社取締役会に付議する予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、国際会計基準であるIFRSを適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	13,438	14,443
営業債権及びその他の債権	13,021	17,023
その他の流動資産	1,100	1,852
流動資産合計	27,559	33,318
非流動資産		
有形固定資産	1,674	1,443
使用権資産	3,826	9,210
のれん	36,476	36,476
無形資産	130	140
持分法で会計処理されている投資	1,956	150
その他の金融資産	4,459	3,949
繰延税金資産	2,152	2,747
その他の非流動資産	790	736
非流動資産合計	51,463	54,851
資産合計	79,022	88,169
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,826	3,947
借入金	1,480	1,480
リース負債	2,016	2,120
その他の金融負債	2	1
未払法人所得税等	2,507	2,821
引当金	3,890	4,880
その他の流動負債	1,954	2,184
流動負債合計	14,674	17,434
非流動負債		
借入金	13,320	11,840
リース負債	1,809	7,017
引当金	409	428
非流動負債合計	15,538	19,286
負債合計	30,212	36,719
資本		
資本金	1,350	1,518
資本剰余金	27,385	27,620
利益剰余金	23,679	31,928
自己株式	△4,386	△10,001
その他の資本の構成要素	782	386
親会社の所有者に帰属する持分合計	48,810	51,450
資本合計	48,810	51,450
負債及び資本合計	79,022	88,169

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上収益	47,394	58,682
売上原価	△27,756	△33,059
売上総利益	19,638	25,623
識別可能資産償却費	△117	-
販売費及び一般管理費	△7,307	△9,594
研究開発費	△1,475	△1,572
その他の収益	398	16
その他の費用	△333	△52
営業利益	10,804	14,420
金融収益	25	96
金融費用	△197	△195
持分法による投資利益	97	31
税引前当期利益	10,729	14,352
法人所得税費用	△2,948	△3,814
当期利益	7,781	10,538
当期利益の帰属		
親会社の所有者	7,781	10,538
当期利益	7,781	10,538
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	33.45	46.42
希薄化後1株当たり当期利益(円)	32.56	45.17

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期利益	7,781	10,538
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融 資産	416	220
純損益に振り替えられることのない項目合計	416	220
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△2	6
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△2	6
税引後その他の包括利益	413	226
当期包括利益	8,194	10,764
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	8,194	10,764
当期包括利益	8,194	10,764

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の 構成要素
					新株予約権
2024年4月1日残高	1,189	27,153	18,350	△0	250
当期利益	—	—	7,781	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—
当期包括利益合計	—	—	7,781	—	—
新株予約権の発行	—	—	—	—	22
新株予約権の行使及び失効	161	232	—	—	△71
自己株式の取得	—	—	—	△4,386	—
配当金	—	—	△2,444	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	11
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	△8	—	—
所有者との取引額合計	161	232	△2,451	△4,386	△37
2025年3月31日残高	1,350	27,385	23,679	△4,386	213

	親会社の所有者に帰属する持分			
	その他の資本の構成要素			合計
	在外営業活動体 の換算差額	その他の包括利益 を通じて公正価値で 測定する金融資産	合計	
2024年4月1日残高	37	111	399	47,089
当期利益	—	—	—	7,781
その他の包括利益	△2	416	413	413
当期包括利益合計	△2	416	413	8,194
新株予約権の発行	—	—	22	22
新株予約権の行使及び失効	—	—	△71	323
自己株式の取得	—	—	—	△4,386
配当金	—	—	—	△2,444
株式報酬取引	—	—	11	11
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	8	8	—
所有者との取引額合計	—	8	△29	△6,473
2025年3月31日残高	35	535	782	48,810

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の 構成要素
					新株予約権
2025年4月1日残高	1,350	27,385	23,679	△4,386	213
当期利益	—	—	10,538	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—
当期包括利益合計	—	—	10,538	—	—
新株予約権の行使及び失効	168	235	—	—	△67
自己株式の取得	—	—	—	△5,615	—
配当金	—	—	△2,847	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	3
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	558	—	—
所有者との取引額合計	168	235	△2,289	△5,615	△65
2026年3月31日残高	1,518	27,620	31,928	△10,001	148

	親会社の所有者に帰属する持分			
	その他の資本の構成要素			合計
	在外営業活動体 の換算差額	その他の包括利益 を通じて公正価値で 測定する金融資産	合計	
2025年4月1日残高	35	535	782	48,810
当期利益	—	—	—	10,538
その他の包括利益	6	220	226	226
当期包括利益合計	6	220	226	10,764
新株予約権の行使及び失効	—	—	△67	335
自己株式の取得	—	—	—	△5,615
配当金	—	—	—	△2,847
株式報酬取引	—	—	3	3
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	△558	△558	—
所有者との取引額合計	—	△558	△623	△8,124
2026年3月31日残高	41	197	386	51,450

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期利益	10,729	14,352
減価償却費及び償却費	708	663
識別可能資産償却費	117	—
使用権資産償却費	1,931	1,965
金融収益	△25	△96
金融費用	197	195
持分法による投資損益(△は益)	△97	△31
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△2,928	△4,003
棚卸資産の増減額(△は増加)	1	—
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△12	1,121
引当金の増減額(△は減少)	924	1,010
その他の流動資産の増減額(△は増加)	687	△405
その他の流動負債の増減額(△は減少)	871	230
その他	141	416
小計	13,244	15,418
利息及び配当金の受取額	23	39
利息の支払額	△148	△195
法人所得税の支払額	△3,888	△4,573
法人所得税の還付額	514	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,746	10,689
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△973	△370
無形資産の取得による支出	△9	△24
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	—	1,892
投資有価証券の売却による収入	1,267	572
敷金及び保証金の差入による支出	△2	△99
敷金及び保証金の回収による収入	251	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	534	1,970
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	14,800	—
長期借入金の返済による支出	△16,950	△1,480
リース負債の支払による支出	△1,936	△2,055
新株予約権の行使による収入	323	335
新株予約権の発行による収入	22	—
自己株式の取得による支出	△4,386	△5,615
配当金の支払額	△2,444	△2,847
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,570	△11,662
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△291	997
現金及び現金同等物の期首残高	13,731	13,438
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	8
現金及び現金同等物の期末残高	13,438	14,443

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業内容は、顧客企業のビジネスの成功に貢献するシステムの提案、構築、運用保守に係るITソリューションの提供であり、区分すべき事業セグメントが存在しないため、報告セグメントは単一となっております。

(2) サービス形態別の売上収益及び売上総利益に関する情報

サービス形態別には、戦略/DXコンサルティング、システムインテグレーション、運用サービスがあり、売上収益、売上総利益は以下のとおりであります。

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	サービス形態				その他	合計
	戦略/DXコンサルティング	システムインテグレーション	運用サービス	計		
売上収益	7,510	26,320	13,518	47,348	45	47,394
売上総利益	3,733	10,486	5,374	19,593	45	19,638

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	サービス形態				その他	合計
	戦略/DXコンサルティング	システムインテグレーション	運用サービス	計		
売上収益	10,816	33,758	14,093	58,667	15	58,682
売上総利益	5,236	14,531	5,840	25,608	15	25,623

※システムインテグレーションには、システム・エンジニアリング・サービス等が含まれております。

運用サービスには、運用・保守、共同利用型サービスの他、ライセンス等が含まれております。

その他は、主としてハードウェア・ミドルウェアなどの物品販売であります。

(1株当たり情報)

基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益 (百万円)	7,781	10,538
当期利益調整額 (百万円)	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益 (百万円)	7,781	10,538
期中平均株式数 (株)	232,578,783	227,033,934
株式増加数		
新株予約権 (株)	6,384,459	6,264,331
希薄化後の期中平均株式数 (株)	238,963,242	233,298,265
基本的1株当たり当期利益 (円)	33.45	46.42
希薄化後1株当たり当期利益 (円)	32.56	45.17

(注) 当社は、2025年10月30日開催の取締役会決議により、2025年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数、新株予約権、希薄化後の期中平均株式数、基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。